					平成26年	丰度 沼津.	工業高等専門学校シラバス			
1年		科目	情報処理基礎	講義	通年	担当	内田正章			
全学科共通		Introduction to Information Processing	必修	2履修単位	12.3	Masaaki UCHIDA				
授業の概要			I							
コンピュー? められる時 となり、トラ	タの普及に 代になって ブルに巻き を含めたこ	きている 込まれた コンピュー	。特に、最近ではコン り、逆に知らず知らる タ全般の話題につい	ノピュータや ずのうちにl	ネットワークを利用 トラブルを起こしてい	りした際にル いることがあ	と同様にルールとマナーが求 レールやマナーの欠如が原因 らる。これらの現状を踏まえ、 ムータを適正に使うための最低			
			目標	説明						
本校学習・教育目標(本科の み)			O 1 2		社会的役割と責任 の成果を社会の要					
			3		の専門的知識を創					
			5		際感覚とコミュニケ: 術者として計画的に					
	ム学習・教 ム対象科			N THE	M A CO CHI ELIN	- 	E-11/2 7 10 St 37			
	実践指針 享攻科のみ)								
授業目	票		1							
コンピュー:	タの仕組み	を理解し	、コンピュータ機器や	授業詞	計画	−を守って∓	が用できる。			
第1回	ガイダンス インターネ 用法につい	シットの利	総合情報センタ利用	用 <mark>案内、mo</mark>	odleの利用法					
第2回			電子メールによる情	報の受信	·発信					
第3回			インターネット利用			才)				
第4回			情報社会の個人情情報社会におけるな							
第5回 第6回			復習	土冶、セイ	エリナイをする技術					
第7回	前期中間	試験								
第8回	試験返却 オフィスソ 用方法に		解答解説スプレッドシート							
第9回			スプレッドシート							
第10回 第11回			ワードプロセッサー ワードプロセッサー	ワードプロセッサー						
第12回			プレゼンテーション							
第13回			プレゼンテーション 復知							
第14回	前期末試	<u></u> 験	復省							
第15回	試験返却		解答解説 プレゼンテーション	発表						
第16回	コンピュー	タの仕	コンピュータの仕組							
第17回 第18回			コンピュータの仕組み 情報のデジタル表現							
第19回			情報のテンタル表現 情報のデジタル表現							
第20回 第21回			情報ネットワーク							
第22回			復習							
第23回	後期中間	試験	<i>47.1</i> 次 47.≅片							
第24回	試験返却 コンピュー した問題 <u></u>		解答解説 コンピュータを利用							
第25回 第26回			コンピュータを利用							
第27回			コンピュータを利用	した問題解	決					
第28回			コンピュータを利用							
第29回 第30回			コンピュータを利用 復習	した问起所	·/					
	学年末試									
第31回	試験返却 授業アンク		解答解説、アンケー コンピュータを利用 		!決					
評価方法 と基準	前期中間試験20%、前期中間演習5%、前期期末試験15%、前期期末演習10%、後期中間試験20%、後期中間演習5%、学年末演習10%の割合で評価するが、不適切なコンピュータの利用や利用に伴うモラルの欠如が見られた場合は不合格となることもある。また、授業態度や演習レポートの提出状況に応じて減点ないし不合格とすることもある。試験を欠席した場合は見込み点を原則とする。									
教科書等			€を生きるための情 売本 4訂版(実教出		所課程版(実教出版	反)				
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。									

内田正章

13	+	科目	T月ギ収欠し	理基礎	講義	通年	担当	内田正草				
全学科	共通	14 🗆	Introduction to Info	ermation Processing	必修	2履修単位	12.3	Masaaki UCHIDA				
					2.12	-//2/2 1 1—						
授業の概要												
コンピュータの普及により情報社会となった現在では、コンピュータを使った世界でも実社会と同様にルールとマナーが求められる時代になってきている。特に、最近ではコンピュータやネットワークを利用した際にルールやマナーの欠如が原因となり、トラブルに巻き込まれたり、逆に知らず知らずのうちにトラブルを起こしていることがある。これらの現状を踏まえ、情報モラルを含めたコンピュータ全般の話題について広く講義し、情報社会においてコンピュータを適正に使うための最低限の知識を身につけることを目的とする。												
			0	1		社会的役割と責任を						
本校学習	・教育目標	(本科の		2		の成果を社会の要請						
	み)			3 4		の専門的知識を創造 際感覚とコミュニケー						
				5		応念見とコミューソー 術者として計画的に						
	ム学習・教 ム対象科											
	実践指針 攻科のみ)										
授業目	=											
		を理解し.	コンピュー	-タ機器や	ネットワー	-クをルールやマナー	を守って和	川用できる。				
			· · · · ·									
	19 129		60 A L+ +-	1	授業							
第1回	ガイダンス インターネ 用法につし	ットの利	総合情報	センタ利用	月案内、mo	oodleの利用法						
第2回					報の受信							
第3回						意について(IPA教材	<u> </u>	<u> </u>				
第4回					報と知的則							
第5回				における生	主活、セキ	ュリティを守る技術						
第6回	** #n _L ==:		復習									
第7回	前期中間		<i>ልክ ላታ ልክ</i> ≘∺									
第8回	試験返却 オフィスソ 用方法に	フトの利	解答解説スプレッドシート									
第9回			スプレッド									
第10回			ワードプロセッサー									
第11回 第12回			ワードプロセッサー プレゼンテーション									
第13回				プレゼンテーション								
第14回			復習	复習								
	前期末試	験										
第15回	試験返却		解答解説プレゼンラ	テーション	発表							
第16回	コンピュー	タの仕	コンピュー									
第17回				-タの仕組	-							
第18回 第19回				青報のデジタル表現 青報のデジタル表現								
第20回				青報のアンタル表現 青報ネットワーク								
第21回				青報ネットワーク								
第22回	7/4 P= 1 ===		復習	·								
第23回	後期中間 試験返却	試験	Aの たた Aの ニュ									
第24回			解答解説コンピュー	-タを利用!								
第25回 第26回					した問題解 した問題解							
第26回 第27回					した問題所した問題所							
第28回					した問題が							
第29回			コンピュー		した問題解							
第30回	24 / h	F.A.	復習									
<u> </u>	学年末試! 試験返却		解答解説	アンケー	- K							
第31回	授業アング				した問題解	詳決						
評価方法 と基準	前期中間試験20%、前期中間演習5%、前期期末試験15%、前期期末演習10%、後期中間試験20%、後期中間演習5%、学年末試験15%、学年末演習10%の割合で評価するが、不適切なコンピュータの利用や利用に伴うモラルの欠如が見られた場合は不合格となることもある。また、授業態度や演習レポートの提出状況に応じて減点ないし不合格とすることもある。試験を欠席した場合は見込み点を原則とする。											
教科書等	インターネット社会を生きるための情報倫理 新課程版(実教出版) 情報セキュリティ読本 4訂版(実教出版)											
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。											
		-										
	2.授某参勧	ぶされる教	貝は当該	授業が行	われる少な	いとも1週間前に教利	+日担当教	は員へ連絡してください。				

情報処理基礎 講義

1年

通年

1年		科目	情報処理基礎		講義	通年	担当	望月孔二			
全学科	全学科共通		Introduction to Information Processing		必修	2履修単位	担目	Kouji MOCHIZUKI			
授業の	概要					<u>I</u>		<u>I</u>			
	コンピュータの普及により情報社会となった現在では、コンピュータを使った世界でも実社会と同様にルールとマナーが求										
となり、トラ 情報モラル	められる時代になってきている。特に、最近ではコンピュータやネットワークを利用した際にルールやマナーの欠如が原因 となり、トラブルに巻き込まれたり、逆に知らず知らずのうちにトラブルを起こしていることがある。これらの現状を踏まえ、 情報モラルを含めたコンピュータ全般の話題について広く講義し、情報社会においてコンピュータを適正に使うための最低 限の知識を身につけることを目的とする。										
				目標	説明	ない はいまた はっぱん はっぱん はっぱん はっぱん はっぱん はっぱん はっぱん はっぱん	· 白尚士 z	能 在			
本校学習	•教育目標	(本科の	0	2		社会的役割と責任を の成果を社会の要認					
1 12.7 1	み)			3		の専門的知識を創造					
				4		際感覚とコミュニケー					
プログラム学習・教育目標				5	美践的技	術者として計画的に	日己研鎖	を継続する安勢			
	ラム対象科 実践指針	目のみ)									
	専攻科のみ	.)									
授業目											
コンヒュー	タの仕組み	を埋解し、	、コンヒュー	-タ機器や		クをルールやマナー	·を す ってオ	可用できる。			
					授業						
第1回	ガイダンス インターネ 用法につ	ベットの利	総合情報代	センタ利用	月案内、mo	odleの利用法					
第2回			電子メール	しによる情	報の受信	•発信					
第3回						意について(IPA教材	†)				
第4回			情報社会の								
第5回 第6回			復習	このいるこ	土冶、セイ	ュリティを守る技術					
第7回	前期中間	試験	IX E								
第8回	試験返却 オフィスソ 用方法に	フトの利	解答解説 スプレッドシート								
第9回			スプレッド	シート							
第10回				ワードプロセッサー							
第11回 第12回			ワードプロセッサー								
第12回			プレゼンテーション プレゼンテーション								
第14回			復習								
	前期末試		171 kk 171 = 1								
第15回	試験返却		解答解説 プレゼンテ	ーション	発表						
第16回	コンピュー	-タの仕	コンピュー								
第17回 第18回			コンピュー								
第19回			情報のデジ								
第20回				青報ネットワーク							
第21回			情報ネット	ワーク							
第22回	⋘₩□ → 88	=- <u>+</u> FA	復習	复四							
第23回	後期中間試験返却		解答解説								
第24回		-タを利用	コンピュー								
第25回 第26回	-		コンピュー								
第27回	1		コンピュー								
第28回			コンピュー	タを利用	した問題解	決					
第29回			コンピュー				·				
第30回			コンピュー 復習	タを利用	した問題解	(決					
第31回	学年末試	験	1反白								
第32回	試験返却 解答解説、アンケート 授業アンケート コンピュータを利用した問題解決										
評価方法 と基準											
教科書等			€を生きる <i>†</i> 売本 4訂版			新課程版(実教出版	<u>(</u>)				
備考	#考 1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。										
	ニスペジ	~oC 1 0 のか	、ス・スコのご	~~~.II	1110020	- 、こし・ 四回門10年37		人名 一定でしていたです。			

鈴木康人

14	年		情報処理基礎	講義	通年		鈴木康人			
A 11/ T		科目			- E 15 W //	担当				
全字科	全学科共通		Introduction to Information Processing	必修	2履修単位		Yasuhito SUZUKI			
授業の	概要			•						
められる時 となり、トラ 報モラルを	代になってき ブルに巻き	きている。 込まれた ゚ュータá	特に、最近ではコン り、逆に知らず知らす き般の話題について」	ピュータヤ 「のうちにI	ネットワークを利用し トラブルを起こしてい	た際にル ることがあ	同様にルールとマナーが求ールやマナーの欠如が原因ールやマナーの欠如が原因る。これらの現状を踏まえ、情タを適正に使うための最低限			
			目標	説明						
T 1T 577 212	***	+=10	O 1 技術者の社会的役割と責任を自覚する態度							
本校学習・教育目標(本科の み)			2 3		の成果を任会の要請の専門的知識を創造					
•,,			4		際感覚とコミュニケー					
2	==		5	実践的技	術者として計画的に	自己研鑚を	と継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標 (プログラム対象科目のみ)										
	実践指針 厚攻科のみ)									
授業目	標									
コンビューク	ガイダンス		コンピュータ機器や 総合情報センタ利用	授業		を守って利	用できる。			
第1回	インターネッ 用法につい									
第2回			電子メールによる情							
第3回					意について(IPA教材)				
第4回			情報社会の個人情報社会における生							
第5回 第6回										
第7回			情報社会における生活、セキュリティを守る技術 復習							
第8回	前期中間試	験								
第9回	試験返却		解答解説							
第10回	1八月大 JC ムル		スプレッドシート							
第11回			ワードプロセッサー							
第12回			ワードプロセッサー							
第13回			プレゼンテーション							
第14回			プレゼンテーション							
第15回	前期末試験	į	復習							
第16回	試験返却		解答解説							
第17回	コンピュータ	の仕組	コンピュータの仕組							
第18回			コンピュータの仕組							
第19回			情報のデジタル表現 情報のデジタル表現							
第20回 第21回			情報のテンダル表現	₹						
第22回			情報ネットワーク							
第23回			復習							
第24回	後期中間討	験								
第25回	試験返却		解答解説							
第26回			コンピュータを利用し	た問題 解	!決					
第27回			コンピュータを利用し	た問題解	決	_				
第28回			コンピュータを利用し							
第29回			コンピュータを利用し							
第30回			コンピュータを利用し							
第31回	1		コンピュータを利用し 復習	た問題解	· 决					
第32回	学年末試験	į								
	= b#4 -= :		nn the nn = '							
第33回	試験返却 授業アンケ	- ト	解答解説, アンケー コンピュータを利用し		決					
評価方法 と基準	期中間演習 や利用に係	習5%、学 半 うモ ラ	年末試験15%、学 ルの欠如が見られ	年末演習 た場合は	10%の割合で評価で 不合格となることも	するが、不 ある。ま	0%、後期中間試験20%、後 ぶ適切なコンピュータの利用 た、授業態度や演習レポー - 場合は見込み点を原則と			
教科書等	インターネ		を生きるための情 表本 4訂版(実教出		新課程版(実教出版	<u>i</u>)				
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。									
							-			

情報処理基礎 講義

1年

通年

1年			情報処理基礎 科目		講義	通年	- 担当	長澤正氏		
全学科	全学科共通				必修	2履修単位		Masashi NAGASAWA		
授業の	 『の概要									
コンピュー められる時 となり、トラ	タの普及に け代になって ラブルに巻き レを含めた	てきている き込まれた コンピュー	。特に、最i り、逆に知 タ全般の話	丘ではコン らず知らす	ピュータヤ ずのうちに	ゥネットワークを利用 トラブルを起こしてい	した際に いることがま	と同様にルールとマナーが求 レールやマナーの欠如が原足 5る。これらの現状を踏まえ、 ュータを適正に使うための最低		
				目標	説明					
本校学習・教育目標(本科の			0	1 2		社会的役割と責任をの成果を社会の要認				
本权于自	・教育日標 み)	*(<i>*</i> 440)		3		の専門的知識を創設				
				<u>4</u> 5		際感覚とコミュニケ- 術者として計画的に				
プログラム学習・教育目標 (プログラム対象科目のみ)				5	天歧的仅	例有として計画的に	- 日 C 切頭	で秘机りる安労		
実践指針(専攻科のみ)										
		/								
授業目		*を理解!	コンピュー	- 々機哭や	ネットワー	-クをルールやマナー	-を守ってま	別田できる		
)	, ८-±,,,,,) IX III (1717		2,750	77.11 CC W0		
					授業					
第1回	ガイダンス インターネ 用法につ	トットの利	総合情報	センタ利用	用案内、mo	oodleの利用法				
第2回					報の受信		1			
第3回 第4回					こおける汪 報と知的!!	:意について(IPA教札 #産	<u>4</u>)			
第5回						<u>ヵ年</u> ュリティを守る技術				
第6回			復習							
第7回	前期中間									
第8回	試験返却 オフィスン 用方法に	ノフトの利	解答解説スプレッドシート							
第9回			スプレッドシート							
第10回 第11回			ワードプロセッサー ワードプロセッサー							
第12回				ワードプロセッサー プレゼンテーション						
第13回			プレゼンテーション							
第14回	前期末試	'騇	復習							
第15回	試験返却		_0 »	解答解説 プレゼンテーション発表						
第16回	コンピュー	−タの仕	コンピュー	コンピュータの仕組み						
第17回				コンピュータの仕組み						
第18回 第19回				情報のデジタル表現 情報のデジタル表現						
第20回			情報ネットワーク							
第21回			情報ネット 復習	情報ネットワーク						
第22回 第23回	後期中間	試験	後日							
第24回	試験返却] -タを利用	解答解説 コンピュー	タを利用!	した問題解	探決				
第25回					した問題解	1 17 1				
<u>第26回</u> 第27回	1				した問題解 した問題解					
第28回			コンピュー	タを利用	した問題解					
第29回					した問題解					
第30回 第31回			復習	グを利用	した問題解					
NO.15	学年末試									
第32回	試験返却 授業アン	ケート	解答解説	タを利用	した問題解					
評価方法 と基準								下適切なコンピュータの利 また、授業態度や演習レ		
教科書等			きを生きる 売本 4訂版			新課程版(実教出版	<u></u> (
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。									
	4.以木沙	pulc 1 v 公分	· 共 (5 コ (8)	スポルリ	17100796	ティニロ・四回門に致べ	rr in 12 3 3	∧気 ·左型していたでい。		